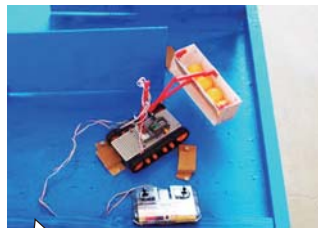
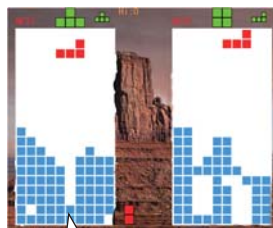


🐼 課題研究せいぞろい！

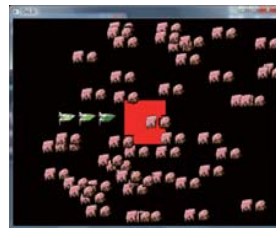
今年の課題研究では、ゲームを作ったり、粘土を動かして動画にするクレイアニメや、ピンポン玉を運ぶロボット、LEGOをプログラムで動かした野球盤、部活動紹介用のwebページ作成、プロ用ソフトを使った3D作品、イラスト作品集、Flashをつかったアニメ制作、動画編集ソフトを駆使した映画制作作品などの発表が行われました。



ピンポン玉を早く、多く運ぶ競技用ロボット。



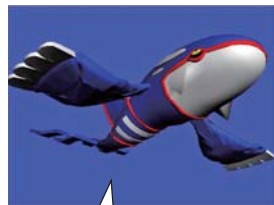
プログラムを書いて作ったテトリスやシューティングゲーム。発表会での実演ではかなり盛り上がりました。



カラフルなクラブ紹介のWebページに仕上がりました。



左は桜、右はカイオーガ。3dsMAXというソフトを使い、3D作品を作り、それに動きをつけて発表しました。



Flashによるオリジナルアニメ。



クレイアニメ。1250枚もの写真で作り上げられました。

※カイオーガは任天堂株式会社の登録商標です

🐼 新Webサイト近日オープン?!

名張西高校のWebページが、まもなくリニューアルします。制作を担当している情報科の先生によると「シンプル&マーベラス(?)」をテーマに、かなり見やすく、英語科、情報科のページもグレードアップされ、見どころ満載のWebページとなるそうです。公開時期はまだ未定ですが、今年度中には公開される予定です。

みなさんも時々、西高のWebページを確認してみてください。



→新しいトップページ

最新機種導入

3D切削マシン2台

様々な素材を立体的に削っていく機械です。3Dソフトなどで作成したデジタル作品を、手軽に実体化させる事が可能になりました。これでオリジナルモデルスーツやキャラクターを作ってみる？



Roland MDX-40A × 2

Q. どんな資格がとれますか？

国家試験では、**基本情報技術者試験**（情報科現役合格者数：通算102名）、**ITパスポート試験**、**危険物取扱技術者乙4類**などに挑戦します。また、工業高校向けの検定である**情報技術検定**や**パソコン利用技術検定**などはクラス全員で合格を目指し、2級3級はほぼ合格します。その他にも全国で一番受験者数が多い検定である**ワープロ実務検定**も校内で実施しています。英検、漢検などを合わせて学期に2つ以上の資格検定に挑戦していくように指導しています。多くの資格検定を受験する機会や、資格取得にむけた講習が開講されていますので是非チャレンジしてください。

Q. パソコンが苦手なのですが大丈夫ですか？

情報科の専門科目では生徒10人に対して先生1人以上という少人数体制で行っています。わからないところはすぐにサポートしますので大丈夫です。また、「ものづくり」の授業があったりと、パソコンの授業だけではありません。3年生の課題研究では映画製作や、LEGOを使った研究、ロボットを作る生徒もいます。

Q. 専門学科・高校枠とはなんですか？

あまり知られていませんが、大学入試で、専門学科・高校（本校では情報科、英語科）の生徒だけを対象に募集をする枠を「専門高校枠」といいます。大学においても目的意識の高い「専門高校生」が注目されていて、多くの大学で試験内容軽減などの優遇措置がとられています。この専門高校枠は「推薦入試」に限らず、「一般入試」においても設定されています。

専門学科・高校枠（工業）がある近隣の大学の一例をあげると、国立では三重大（工・生物資源）、岐阜大（工）、静岡大（教育）滋賀大（教育）など、私立では同志社大（理工）、近畿大（経営）、龍谷大（理工）、京都産業大（経営）、大阪工大（工）などがあります。

※この他にも様々な大学が行っています。情報科では専門学科（工業）を受けることができます。

Q. どんな設備があるのですか？

情報科には120台を超えるパソコンや、ロボットなどの県内有数の実習機器があります。実習用ソフトもAutodesk 3ds MAXやAdobe CS4(Illustrator・photoshop・Flash)などプロが使用するソフトが導入されています。今秋設置された、Roland MDX-40A（左面参照）は、3Dソフトで作ったコンピュータ上の作品を、現実の立体模型に削りだすことができます。ここでは紹介しきれませんが、これらの装置を使いこなす生徒のみなさんを待っています。

Q. 情報科に女子はいるのですか？

どの学年にも女子生徒がいます。3年10名、2年5名、1年3名が在籍しています。また情報科の先生の中にも女性の先生がいます。

Q. 課題研究はどんな事をしているのですか？

3年生になると、1年間にわたり毎週3時間、自分で選択した課題に取り組み、研究成果としての作品制作を行います。完成した作品は、在校生の前で発表する機会もあり、情報科が最も重視している科目の一つです。今年の成果は左面をご覧ください。

情報科にきけ！